学校番号	104

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ ディスカッションⅠ	2	2	English Firsthand 2 Fifth Edition (Pearson)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

DDⅠはネイティブ教員と日本人教員による授業で、少人数でスピーキングとリスニングを中心に授業を行います。ペアワーク、グループワークなどのアウトプットだけでなく、エッセイライティングからスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションへと発展して３年の授業につなげていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 2 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞き取ることができる。	・簡単な語や表現で書かれた短い物語伝記などを読み、あらすじを理解することができる。 ・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。	・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りすることができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、前もって準備したうえで、会話に参加することができる。	・日常的・社会的な話題に関する情報や出来事について、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて意見や感想を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対話、講義、エッセイなどを通じて言語や文化についての知識と理解を身につける。 CEFR A2～B2 程度の短い文章を読んだり聞いたりして概要を理解することができる。	スピーチは発音、強勢、ジェスチャー等を効果的に取り入れることができる。 テーマやサンプルとなるエッセイをもとに骨組みをつくり、エッセイを書ける。 日常的な会話だけでなく、複雑な対話や講義を聞いて、概要を理解することができる。 即興で、適切な水準の語い表現で適切に応答できる。	国際的なコミュニケーションにおいて通用するような、積極的な姿勢で活動に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Unit 1 Unit 2	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトとったりジェスチャーを使ったりすることで、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Unit3 Unit4	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトとったりジェスチャーを使ったりすることで、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			

2 学期	Unit5 Unit6	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトとったりジェスチャーを使ったりすることで、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Unit7 Unit8 Unit9	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトとったりジェスチャーを使ったりすることで、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
3 学期	Unit 10 Unit 11 Unit 12	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況

		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトとったりジェスチャーを使ったりすることで、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら, 主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度